

2012-B					
拠出金・基金の名称:		赤十字国際委員会拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク (注)			
拠出先の国際機関名: 赤十字国際委員会(ICRC)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省 国際協力局 緊急・人道支援課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 紛争災害被害者に対する支援					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千スイスフラン)	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	4,214,239	49,200	2,545	1\$=81円, 1CHF=90円	100%
平成23年度	3,978,380	42,000	2,828	1\$=89円, 1CHF=85円	100%
平成22年度	4,522,776	45,000	3,327	1\$=94円, 1CHF=88円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
ICRCは、アフガニスタン、シリアやアフリカ諸国を中心に、治安状況や政治的な理由で我が国や他の国際機関が活動できない場所においても、その高い独立性、中立性を活かすとともに、赤十字社・赤新月社と連携すること等により、積極的に活動を行っている。2012年度、我が国は治安情勢の不安定化等を受けて人道状況が悪化したアフリカ・サヘル地域、シリア国内の情勢の悪化にシリア国内の避難民支援などでICRCの活動を支援し、脆弱者への支援、負傷者の治療、身体障害者に対するリハビリ療法の提供等の医療支援を実施したが、こうした地域ではICRCしか活動していない地域も多く、その活動は緊急かつ不可欠であると評価できる。 ICRCはその独立性、中立性を維持する観点から、特定のドナー国からの意見を意志決定に直接反映させることはないが、毎年開催される支援国会合や国際顧問グループの提言を通してドナー国との意思疎通を図っている。 ICRCは、現地で活動する赤十字社・赤新月社と協力することにより、より効率的な活動を実施することを目指しており、また人件費の削減等の努力をしている。また、会計報告は定期的に主要ドナーに開示されており、透明性は非常に高い。					
(注) 本件拠出金には、イヤーマーク及びノン・イヤーマークの双方の拠出が含まれる。					